

阪神・淡路大震災から25年となる神戸市で

AI防災協議会のシンポジウムを開催

AI防災協議会(理事長:LINE株式会社 江口清貴)は、2019年6月の設立から現在に至るまでの一連の取り組みを振り返るとともに、今後のビジョンについて議論するため、2020年1月16日に神戸市で「AI防災協議会シンポジウム」を開催しました。

シンポジウムは、神戸市の三宮研修センターで開催し、自治体職員を中心に100名以上の方に参加いただきました。内閣府副大臣 平将明氏や神戸市副市長 油井洋明氏による基調講演のほか、協議会が取り組んでいる各プロジェクトについての報告が行われました。

また、これまで協議会と共同で実証訓練等を行ってきた神戸市や千葉県などの自治体からは、取り組みの成果や今後の改善点などが報告されました。

あわせて、AIを防災にどう活用していくかについてパネルディスカッションが行われました。その中で、どのように情報を出していけば避難行動につながるのか、災害時にAIを活用して自治体職員をどう支援していくかなどについて多くの意見が交わされました。

今後も議論や実証訓練等を重ねた上で、プロジェクトの検証を行い、より社会のニーズに合った防災・減災システムの構築を目指してまいります。



AI防災協議会 臼田 裕一郎常務理事による報告



パネルディスカッションの様子

<参考> 1月16日開催、AI防災協議会シンポジウム プログラム

◆開会挨拶

AI防災協議会 顧問 喜連川 優（国立情報学研究所 所長）

AI防災協議会 顧問 林 春男（国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長）

◆基調講演1

内閣府副大臣 平 将明 氏

◆基調報告:各プロジェクトについて

-SIP4D について

AI防災協議会 常務理事 臼田 裕一郎（国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター センター長）

-SOCDA について

AI防災協議会 特別会員 鳥澤 健太郎（国立研究開発法人情報通信研究機構 データ駆動知能システム研究センター センター長）

-RiskMap について

AI防災協議会 特別会員 村上 暁信（Massachusetts Institute of Technology / 筑波大学 教授）

AI防災協議会 特別会員 Miho Mazereeuw（Massachusetts Institute of Technology / Urban Risk Lab Director）

-LINE リサーチと被災者支援 ChatBot について

AI防災協議会 事務局長 福島 直央（一般財団法人 情報法制研究所 事務局次長）

◆基調講演2

神戸市副市長 油井 洋明 氏

◆現場報告:各プロジェクトについて現場からのご報告

-神戸市での取組報告

神戸市 消防局警防部 消防団支援課 課長 菊地 勝治 氏

-三重県と伊勢市での取組報告

国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所 所長 秋葉 雅章 氏

-千葉県での取組報告

千葉県 ICT 利活用戦略担当 特命副課長 戸崎 将宏 氏

◆パネルディスカッション「AIを使った防災とは？」

<モデレーター>

AI防災協議会 常務理事 臼田 裕一郎

<登壇者>

AI防災協議会 理事代理 井上 孝一（損害保険ジャパン日本興亜株式会社 企画開発部 部長）

AI防災協議会 理事 萩行 正嗣（株式会社ウェザーニューズ AIイノベーションセンター）

AI防災協議会 副理事長代理 田中 真司（ヤフー株式会社 メディアカンパニーメディア統括本部
企画デザイン2 本部企画デザイン2 部 天気・災害 サービスマネージャー）

国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所 所長 秋葉 雅章 氏

AI防災協議会 事務局長 福島 直央

◆総括・今後に向けて

AI防災協議会 理事長 江口 清貴（LINE 株式会社 執行役員）